

2017年3月1日

各位

会社名 株式会社メディアグローバルリンクス
 代表者名 代表取締役社長 小野 孝次
 (コード番号: 6659)
 問合せ先 取締役管理本部長 長谷川 渉
 (TEL. 044-589-3440)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2016年10月26日に公表した業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2017年3月期通期連結業績予想の修正(2016年4月1日～2017年3月31日)

(単位: 百万円、%)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	5,850	160	70	10	1.80
今回修正予想 (B)	4,390	△770	△880	△940	△167.39
増減額 (B - A)	△1,460	△930	△950	△950	
増減率 (%)	△25.0	-	-	-	
(参考) 2016年3月期実績	5,649	316	257	114	20.77

2. 修正の理由

当社の顧客であるメディア(映像伝送)市場は、転換期を迎えており従来の伝送方式からからIP化へ舵を切り始めています。

この流れに乗り、当社は、国内放送局内システム向けの高付加価値製品を優先して開発し、他社に先駆け国内市場向けに積極的に販売を行ってまいりました。

しかしながら、国内の放送局内IPネットワーク化は、関連設備が広範囲で投資額が大きくなることから、当社の顧客は、その必要性を認識しつつも、当面の投資額を低く抑える傾向にあり、低価格ソリューションの採用が主流で、当社製品は、先進技術の設備投資に前向きな大手の顧客が購入するにとどまっています。

また、前述の通り放送局内IPネットワーク製品の開発を優先したことから、通信キャリア向け映像伝送装置関連の開発が遅れ、当該市場のニーズに応える製品の投入が遅れが発生しております。

売上高については、北米市場は順調に拡大していますが、昨年度まで北米市場とともに牽引していたオーストラリア市場は、需要の一巡に加えて、前回予想以降、顧客の設備投資計画に変更が生じ、予定されていた設備投資が延期または見合わせになり、前回予想に比べ下回る見通しです。国内市場は、当社の想定よりも市場の動きが鈍く需要が伸びなかったこと、放送局内 IP ネットワーク向け製品の販売が、前述の通り、先進技術の設備投資に前向きな大手の顧客にとどまっていること、一部顧客の設備投資計画が変更になったこと、新製品の開発が遅れが生じたこと等の理由により、前回予想に比べ下回る見通しです。欧州市場とアジア市場は、通信キャリア向け映像伝送装置関連の開発が遅れ、新製品が投入できなかったことにより、低価格ソリューションのニーズが高い同地区での新規開拓に苦戦しております。これらの理由により、2017年3月期通期の売上高は、前回予想を下回る見込みで、今般修正を行うものです。

利益については、経費削減に努めるものの、激化する競争環境の中で更なる成長を図り、来年度以降の事業基盤の健全化を進めるためには、新製品の研究開発を積極的に継続する必要があります。そのため、研究開発費は前期を超える水準で投入致します。以上の理由から、2017年3月期通期の利益額は、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも前回予想を下回る見込みとなりました。

なお、通期連結業績予想に関しての為替レートは、前回発表の1米ドル105円、1豪ドル78円から、1米ドル109円、1豪ドル82円に変更しております。

上記に記載した数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上